



やあ こんにちは 倉本 昌弘さん



昨年11月の「いわさき白露シニアゴルフトーナメント」(鹿児島)



やあ こんにちは

ニックネームは「ボバイ」そして「マッシー」。
豪快なショットで多くのファンを沸かせ、
1980年代の空前のゴルフブームに
大きな貢献をした倉本昌弘さん。
ゴルフからビジネスまで、
幅広いお話を伺いました。

ひとりで書いて！

倉本プロは愛犬家。トイプードルを大切な家族の一員として、ご夫妻でかわいがっているそうです。(住商こみゅにてい編集部)



プロゴルフアー
日本プロゴルフ協会会長

倉本 昌弘 さん

インタビュー



西日本化学品部
佐々 英之さん



物流統括部
渡辺 敬倫さん



鋼管企画開発部
森下 絵梨香さん

(くらもと・まさひろ) 1955年9月9日生まれ。
広島県出身。日本大学卒業。大学時代に日本
学生選手権4連覇を達成。プロ入りした81年、
初戦から優勝するなど6勝を上げ賞金ランク
2位に。翌82年には全英オープンで日本選手
歴代最高の4位に輝く。これまでにレギュラー
ツアー30回、シニアツアー3回など優勝多数。
2014年2月より現役選手として初めての日本
プロゴルフ協会会長を務める。

広げていきたい
家族で楽しむゴルフ

佐々 われわれ3人は住友商事を
代表するくらいのゴルフ好きです。
なので、昨今の競技人口の減少に
ついて心配をしています。日本プ
ロゴルフ協会の会長として、どの
ようにお考えでしょうか。

倉本 ご指摘の通り、ゴルフが最
も盛んだった90年代の初頭には全
国に約1400万人のゴルフアー
がいたのに、今では約800万
人に減っています。それをまず
1200万人くらいの規模に戻そ
うというのが私たち執行部の目標
です。

森下 具体的に、どのような世代
の愛好者を増やそうと？

倉本 20代中心ですね。アンケート
調査では、家族や友人と一緒にゴ
ルフをやりたいという若い人たちの
回答が多いんです。逆に会社の
人とはやりたくない(笑)。

佐々 時代が変わりましたね。ゴ
ルフの復興のために私たちがお手
伝いできることはありますか。

倉本 月に1回のゴルフを2回に
増やしてください(笑)。それと、
ぜひご家族でプレーを楽しんでく
ださい。奥さん、お子さん、おじ
いさん、おばあさん……。最大で
4世代が一緒にプレーできるのも
ゴルフの長所ですから。

渡辺 家族で楽しむ時間が広がっ
ていくといいですね。ゴルフ普及
の方策は他にもあるのですか。

倉本 ゴルフスクールの活性化やゴ
ルフショップとの提携の他、大学
に道具を寄付し、コーチを派遣し
て、授業に取り入れてもらうなど、
いろいろと取り組んでいます。ゴル
フ場の付加価値の向上策も考えて
います。例えば全国のゴルフ場の
中には平均して約800メートル
の長さの小川が流れており、メダ
カが泳いでいたりします。

森下 800メートルとは、すごい！
倉本 そういったゴルフ場の魅力
のアピールに加え、これからはプ

ロゴルフアーに向けた教育を行う
ことも、普及のためには欠かせま
せん。プロゴルフアーは個人商店
のようなものですから、中には社
会性や「和」の心に欠ける人もいま
す。それらを養っていくことも、
重要な取り組みの一つです。

渡辺 そうすれば、ファンの人た
ちとの交流もより盛んになってい
くでしょうね。

倉本 ゴルフは敷居が高いスポー
ツというイメージが、これから始
めたい方々にとって妨げになって
いるのも事実です。それを払拭し
ていくことが大切なんです。

空いた時間で精一杯の
トレーニングを

森下 倉本さんは早い時期から筋
力トレーニングを採り入れたこと
でも知られています。そのきっか
けを教えてください。

倉本 大学卒業後にアメリカへ留
学したとき、選手たちが当たり前
のように科学的なトレーニングに
取り組んでいるのを見て、自分も
始めるようになりました。

佐々 48歳のとき、初日に59スト
ロークという記録的なスコアを出し
てツアー30勝目を飾り、また昨日の
大会(※)でも優勝されたばかりです。
58歳の今も、倉本さんが素晴らしい

ゴルフをできている秘訣とは？

倉本 年齢に合わせてトレーニング
の方法を変えていることだと思い
ます。私の年代は、けがをすると治
すのに時間がかかってしまうので、
それに注意しながら体を鍛えなく
てはなりません。いつでもどこでも
できるよう、トレーニングは1時間
以内でやることに決めているんです。
試合が終わった後、空き時間があつ
たら、たとえ1時間でも45分でも
やっていますよ。

森下 時間を有効にということだ
すね。

倉本 はい。基本的には自重、つ
まり自分の力を利用するトレーニ
ングです。大切なのは、自分の体
のどこに筋肉を付けるのかを常に
考えながら行うことです。例えば
ゴルフのスイングに重要な胸筋は
できるだけ上に付けたいので、腕
立て伏せは首を前へ出す要領でや
ります。そうすると胸部の上の方
に力が伝わって、そこに筋肉が付
くわけです。

渡辺 倉本さんが鉄棒で片手懸垂
するテレビCMを昔見たことを、
思い出しました(笑)。

倉本 どういうトレーニングをす
れば、体のどこに刺激が入って、
どこに筋肉が付いていくのか。そ
れが分かるようになると、短い時
間であっても効果的なトレーニン

かみゆに書いて！

飛距離アップの鍵となる体重維持のため、日夜精進する佐々さん。ショットもシヨークも切れ味抜群です。(鉄鋼原料部 坂野和則さん)



第53回日本プロゴルフシニア選手権大会 住友商事・サミットカップ

「住友商事・サミットカップ」が、当社の特別協賛で開催されます。倉本プロをはじめ昨年優勝した渡辺司プロや、青木功プロなど多数の選手が参戦予定で、大会の様子はBS朝日などでも放映される予定です。詳細は、今後掲載されるイントラネットの情報をご確認ください。

日時:10月9日(木)～
12日(日)
場所:サミットゴルフ
クラブ(茨城県石岡市)



インタビューを終えて

- 倉本プロのゴルフ界に対する熱い思いや、58歳でも現役プロゴルファーとして活躍する秘訣を伺うことができ、貴重な機会となりました。当社ゴルフ部メンバーで共有して、日経カップ企業対抗戦や商社対抗戦で生かし、上位入賞を狙いたいと思います。(佐々)
- 日本プロゴルフ協会会長として重責を担いつつ、ゴルフ振興や会員の生活などリーダーとしてさまざまなことを考えておられることに驚きました。また、技術的なことはさほど問題でない、というのは、そこを求めて日々さまよう私にはショックでした。(渡辺)
- 最高のゴルフプレーヤーであるとともに、誰よりもゴルフ界の今後の発展を考え、語られる倉本プロの姿に心を打たれました。倉本プロから教わった「試合では緊張している自分を理解し楽しむこと」。ゴルフでも仕事でも緊張感を楽しめるようになりたいです。(森下)



倉本 自分に足りない分野のブレンを付けることですね。私の英語力を補ってくれる人、私の代わりにマーケティングをやってくれる人。そんなブレンはただの専門家ではなく、私の思いを分かってくれて、それを成果にしてくれる人たちがなくてはなりません。ですから、私は普段から頻繁に自分の思いを彼らに伝えるようにしているんです。

森下 どうやって思いを伝えているのですか。飲みながら？ プレーをしながらでしょうか？

倉本 そのどちらも私は嫌なので、できるだけ短い時間で短い思いを伝えています。会議というものは長くしては全く意味がありません。

一同 耳が痛い笑。

倉本 重要案件になるほど会議って長くなるでしょう。それは誰も発言に責任を持ちたくないからなんです。私は「最後は自分が責任を取る」と言っています。

渡辺 最後に、住商社員に向けてメッセージをお願いします。

倉本 住商の名刺を持って街を歩いているとき、自分たちは住商の社員だと今以上に誇りに思える会社を、さらに光り輝く住商を、皆さんの力でぜひ作ってください。われわれ日本プロゴルフ協会の人間も、誇りを持って仕事をします。お互いに頑張っていきましょう。

プロができますよね。
佐々 私も早速やってみます。

※5月17・18日に開催された「第6回ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメント」

**平常心にこだわらず
今できることを**

渡辺 今度は技術的なことを教えてください。ゴルフの練習は毎日されているのですか。

倉本 今は会長職が忙しくて、練習がほとんどできていません。そもそもゴルフでは、技術的なことって、それほど問題ではないんですよ。

一同 えっ!? (笑)

倉本 ゴルフの技術というのは、例えば皆さんの仕事の知識と同じで、どこかに収められているものです。それを引き出す訓練さえすれば、いつでも出てきます。

佐々 われわれ一般のゴルファーは、とてもその域には及びません。でも誰でもナイスショットを打つたことはあります。それをどうやって引き出せばいいのでしょうか。

倉本 ナイスショットが出るとき、頭の中は真っ白で、何も考えていない状態です。それはリラックスできているということで、だからナイスショットが出るのです。

森下 リラックスしよう、平常心を

保とうと思っても、どうしても力が入ってしまう、うまくいきません。どうすればいいのでしょうか。

倉本 これはよく聞かれる質問なんですけど、平常心なんて保たなくてもいいんです。保てるはずがないんですよ。例えば、皆さんが会社に入って初めての社外プレゼンをするようになった場面を思い浮かべてみましょう。もう緊張して、言葉が出ませんよね。書類の作成など事前の準備はたくさんしてきたのに、プレゼン会場へ行った途端「話す順番はどうだったか」「何を話さなきゃいけないのに書類はどこに置いたか」という騒ぎになったりしませんか。これは、まさにゴルフのパニックと同じ状況なんです。

森下 そうなったときには、もう「こんなものだ」と割り切った方がいいのですか。

倉本 そうです。最低ここだけは話そうと、前もって箇条書きにしてきたことだけを伝えればいいわけです。それと同じことをゴルフでもやればいいんですよ。今できること、それだけをやる。多くを求めない。ミスの許容範囲を広くする。そういうことが大切なのです。

佐々 企業対抗ゴルフ選手権のようなチーム競技でも、メンバー各自ができることをやる。それが好結果につながるかと。

つながると？

倉本 はい。チームの誰もが破綻を来さないようにするという精神的なこと。それに加えて、大たたきを事前に回避するなどのコースマネジメント。この二つがうまく運べば、十分に戦っていけますよ。

**ゴルフもビジネスも
マネジメントが重要**

佐々 協会組織の改革や立ち上げなど、倉本さんはビジネスの世界にも通じる取り組みをされています。そういう視点から、何かアドバイスをいただけますか。

倉本 ビジネスと同様、ゴルフにおいてもマネジメントが重要です。プラン・ドゥー・シーですね。まず、コースマネジメント。コースや風向きなどの情報を集め、プラン・ドゥーに移るのですが、刻々と変化する状況に対応するため、ゴルフのドゥーは流動的なものでなければなりません。次に、自己マネジメント。ゴルフは一人でプレーをしているように思われるでしょうが、実はチームでやっているようなもの。自分一人の中に、たくさんメンバーがいるんですよ。

渡辺 一人の中にチームが？

倉本 プレーをするチーム、体を鍛えるチーム、それに家族と暮ら

らすチームなど、いろんなチームが自分の中にいますから、それらがうまく働かないとゴルフもうまくいきません。例えば家庭不和とか心配事があると駄目ですね。

佐々 個人でも組織でもマネジメントが重要ということですね。組織マネジメントとして大事にしているのはどんなことでしょうか。

